



# 在宅小児医療 災害対策 医療機器1



## 電気を使わない吸引器

普段の吸引器の使い方に合わせて選びます。

適正な吸引圧は、口腔内25-30kPa、気管内10-20kPaです。  $1\text{kPa}=7.5\text{mmHg}$

シリンジ+吸引カテーテル も

ぜひ、覚えておいてください



吸引のこつ

たんのあるところまでカテーテルを  
すすめてから、シリンジを引きます



**ブルークロス製 HA-210**  
最大吸引圧 210mmHg (28kPa)  
定価 3,600円

**利点** 安価、携帯性に優れる  
手持ちの吸引カテーテルを  
接続して使用できる



**新鋭工業製 KFS-400**  
最大吸引圧 400mmHg (60kPa)  
定価 13,800円

**利点** 足踏式の中では安価  
**特徴** 足のうら全体をつけて動作するので  
体が不安定にならない  
**欠点** 和室のお布団では踏みにくい  
(足踏式全般に言えます)



はずれない

**新鋭工業製 NK-1411**  
**スマイルバッグ**  
最大吸引圧 190mmHg (25kPa)  
定価 3,000円

**利点** 安価、携帯性に優れる  
**欠点** 付属チューブが固定ではずれない



**ブルークロス製 FP-300**  
最大吸引圧 300mmHg (40kPa)  
定価 20,000円

**特徴** 足のうらの親指の付け根あたりで踏む  
**欠点** 操作時に体が不安定になる



**39Fr** **AMBU製レスキューポンプ**  
最大吸引圧 450mmHg (60kPa)  
定価 23,000円

**利点** 成人の蘇生用(誤嚥・窒息時)、高圧  
**欠点** 付属チューブ(18Fr・39Fr)のみ接続可



**AMBU製足踏吸引器**  
**ツインポンプ**  
最大吸引圧 600mmHg (80kPa)  
定価 58,000円

**利点** 高圧、容量を越えても吸引できる  
**欠点** 高価



# 在宅小児医療 災害対策 医療機器2



## 自家発電機

### 選択のポイント

① 使用する電気機器の容量によって機種を選択します

医療機器：人工呼吸器 90~210W + 酸素濃縮機 150W + 加温加湿器 120~300W = 360~660W

家電機器：冷蔵庫 200~400W、冷暖房 200~500W、テレビ 150~250W

② インバーター機能付きを選びましょう  
安定した出力が得られます

- 呼吸器回路用の人工鼻使用で、加温加湿器分の節約
- 酸素ボンベで酸素濃縮器分の節約



カセットボンベは一日分(24本)を準備しましょう

EU9i-GB	EU9i	EU16i	EU26i	EU55is
900W	900W	1600W	2600W	5500W
104,790円	134,400円	207,900円	312,900円	488,250円
19.5Kg	13Kg	20.7Kg	35.2Kg	101.7Kg
カセットボンベ 2本で2時間	ガソリン2.1ℓ	3.6ℓ	5.9ℓ	13.8ℓ
必要最低限の照明		ほとんどの 電気製品	一般家庭の 総電力	小型事務所の 総電力

### 車載用インバーター



シガーライターソケットからAC100Vへ変換

ガソリンは揮発性の液体なので保管は必ず**携行缶**で行います  
通気性のよい屋外の物置などへ置いてください  
最低でも3か月に一回は入れ替え  
給油は一旦発電機を止めて行ってください



発電機の使用は必ず屋外で  
屋内に電気を引き込むための**ドラム型延長ケーブル**を一緒に準備しましょう



ボンベ型・ガソリン型ともに**エンジンオイル**の劣化が早いので交換が必要です  
初回は1ヶ月もしくは20時間運転以降は50時間~100時間ごと  
1年以上使用しない場合でもエンジンオイルの交換は必要です

